

9月定例会

陸別町議会9月定例会は、9月2日から10日まで、その内の4日間開かれました。今定例会では、委員の選任2件、計画の一部変更1件、規約の変更3件、補正予算案2件、条例の一部改正件、条例の制定1件、意見書案1件を同意または可決し、令和6年度決算全7会計を全て認定し、閉会しました。

陸別町農業環境支援センター設置条例可決

A 環境に優しい農業を目指すために、家畜糞尿の有効活用や畜産業を中心とする環境問題の解決など、町としての役割を明確にした

Q 農業環境に関して町にとつてのメリットと、設置後のバイオガスプラント現場での今後の取り組みについて伺う。

条例に関する質疑

陸別町における環境にやさしい農業を目指し、家畜糞尿等の有効活用と市街地周辺をはじめとする畜産業に起因する環境問題の発生防止を目的として、陸別町農業環境支援センターを設置する。

事務所については、株式会社農業環境支援公社事務所の一部を借上げて使用する予定。



▲ バイオガスプラント敷地内の事務所に設置

うえて、バイオガス発電の安定運行に取組み、その先に余剰エネルギーの有効活用など、官民連携を強化し進めることにより、ゼロカーボンの実現、地球温暖化の抑制に寄与できると考えている。

また、このバイオガス事業は、今、乗り越えなければならぬ時期にきている。非常に大切な事業だと思っており、今後も有効活用し支援もしていきたいと考えている。

令和7年度 各会計補正予算（9月定例会可決分）

会計名	補正額	総額
一般会計	3,094万円	50億6,783万円
介護保険事業勘定	5,536万円	3億5,817万円

令和7年度 各会計補正予算（第5回臨時会可決分）

会計名	補正額	総額
一般会計	69万円	50億6,852万円

令和6年度 各会計決算と認定

～ 主な質疑・答弁 ～

9/10

● 移住体験住宅管理費

114万円

Q

ちょっと暮らし住宅
体験は、何件、何名の
利用があったのか。また、
体験を通じて陸別町にどの
様な印象を持っていたのか。
過去の実績を踏まえ町と
して、この事業の見直しな
どは考えているのか。

A

体験住宅3戸を運用
しており12件25名の利
用があった。

感想をお聞きしているの
で一部を紹介すると、「自
然を満喫することができた」



▲ ちょっと暮らし住宅（共栄第1）

「陸別という町も深く知る
ことができて好きになれた」

「思ったより暑かった」「の
どかでアットホームな雰囲気
が良かった」等の感想を
いただいている。

ここを足掛かりに陸別町
を好きになって何度も来て
くれる方も大勢あります。

そういう方からのふるさと
納税や陸別町の良さを様々
なもので発信していただい
ており、単純に収支を求め
るものではなく、この事業
は効果があると思っている
ので、この施設がある限り
来年度も続けるべきと考え
ている。

● 自治体情報システムの 標準化・共通化事業

3千51万円

Q

自治体情報システム
の標準化とオンライン
システム化の対応となると
思うが、どのような内容な
のか。

また、今回の標準化・共
通化により、マイナンバー
カード機能搭載のスマート

フォンで診療所、薬局等に
おいて利用が可能になって
いるのか。

A

国が進める自治体情
報システムの標準化事
業で、これまで地方自治体
ごとに各種情報システムを
自ら開発、調達し管理して
きたが、国において法令等
で定められた各自治体に共
通する業務については、同
じ仕様の下で業務の効率化
を図った方が良いというこ
とで標準化・共通化が進め
られ、標準化対象事業は現
時点での事務が指定され
ている。

また、オンライン等につ
いては標準化には含まれて
いない。この標準化基盤整
備が終わった後に波及する
システムと捉えている。

9月19日よりスマートフォ
ンでのマイナ保険証の利用
が開始されるが、診療所及
び薬局では現在スマートフォン
に対応する機器ではない
ため利用できない。現時点
において導入予定は未定で
す。

令和6年度 各会計の決算の状況

(単位：万円 千円以下端数処理)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引余剰金	繰越明許費繰越額	一般会計からの支援額	実質に近い収支
一般会計	53億7,338	52億0,465	16,873	386	—	16,487
特別会計						
国保事業勘定	3億2,231	3億2,104	127	0	326	△199
国保直診勘定	4億0,317	3億7,950	2,367	0	1億6,581	△1億4,214
介護保険事業勘定	3億4,791	2億9,266	5,525	0	0	5,525
後期高齢者医療	5,442	5,410	32	0	0	32
事業会計						
簡易水道事業	2億7,997	2億9,640	△1,642	—	6,183	—
公共下水道事業	1億9,499	2億1,038	△1,539	—	3,750	—

※ 事業会計の差し引きが赤字になった場合は、過年度分損益勘定留保資金などにより補われます。

Q 住民票、印鑑証明等の書類発行及びコンビニでの各種証明書の発行は、この事業に含まれているのか。

A 基幹業務システムを国の統一仕様にするということで、20の業務の中には住民基本台帳、印鑑登録、各種税などが含まれており、その中で標準仕様のもに業務システムを改良してきた。当町においても既に一部印刷物については標準化を終えている状況である。

Q コンビニ等で住民票、印鑑証明書交付の導入予定はないが、今後の検討事項として考えている。

●職員研修

178万円

Q 新規採用職員研修、法令実務研修となつて

いるが、この研修は担当職員が行政法規の習得のために受けているものと思われるが、キャリア形成を目的とした研修に参加した実績

はあるのか。

A 採用時から年次を追つて計画的な研修で、基礎的なものがメインとなる新採用職員研修や3年目、5年目研修は特に行政職員

として必要な法令実務研修、管理職員を対象に指導能力研修などで、キャリア形成等については、各担当部署において専門的な研修は行っている。

●かっこうの家業務委託

1千322万円

Q この施設は空き

きがあり余裕があるべき施設であるが、利用対象者は町長が認める者など、かなり緩い利用対象基準となっており、利用者を増やすために何らかの対策を考えてきた経過はあるのか。

A 基本的には、このサービスを必要とする方が必要な時にサービスを受

けられるような施設であるべきという考え方を持っており、常に満床を目指すものではなく、必要な時に入居できる状態で施設運営を進めている。

地域包括支援センターを中心に、自宅での生活が困難な方や退院が近い方で一入暮らしの生活が大変であるという事例も踏まえつつ、ご家族や本人の意向を尊重しながら利用につなげていく工夫をしている。



▲ しらかば苑の中にある「かっこうの家」の居室

委員の任命

● 公平委員会委員に、共栄第2の星美保子さん（新任）を選任することに同意しました。

● 固定資産評価審査委員会委員に、分線の依田美實さん（再任）を選任することに同意しました。

教育長の任命

11月17日で任期満了となる教育長に、有田勝彦氏を任命（再任）することに同意しました。

臨時会

第4回臨時会が、8月7日に開催され、工事請負契約の締結について1件を審議し、原案のとおり可決しました。

第5回臨時会が、10月14日に開催され、一般会計補正予算1件、教育長の任命について審議し、原案のとおり可決または同意しました。

一般質問

9月定例会では4人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。
その内容を要約して掲載します。

空家に関する対応

有害鳥獣被害対策の取り組み

工藤 哲男 議員

空家の現状把握を十分に

問 平成27年空家調査の結果、空家及び特定空家は何件で、現在は何件あるのか。空家の所有者に対し景観と災害の被害等の問題を伝えるため、連絡先は全て把握しているのか。

平成26年に空家等対策特別措置法が成立以降、空家対策計画策定と所有者への相談と指導等は行っているのか。また、所有者の固定資産税の滞納は無いのか。

平成30年に設置された陸別町空家等対策協議会はどうのような協議と取り組みを目的としたものなのか。景観形成事業の補助金について今後の見直しや空家問題解決に向けた方針を伺う。

答 平成27年の空家調査で161件を把握した。特定空家は無い。現在は107件である。所有者の連絡先は、全ては把握できていない。

空家対策計画は、平成29年に策定している。不良度が4段階あるうち、一番悪い状態のD判定は15件。現在は9件であり早期の解体を促していきたい。税の滞納は無いが、相続登記がされていなく不明な方の課税保留は9件ある。令和6年以降は相続登記が義務化されたため追跡できるよう努力している。

協議会は特定空家指定等の目的であり開催していないが、特定空家指定案件が出れば開催する。解体コスト上昇は理解しているが、現時点での補助

額の変更は議論していない。多くの町民のご意見を伺うが個人の財産のため、現状把握を十分行い進めていきたい。

JA陸別町・猟友会と協議し検討

問 猟友会の駆除に携わるハンター数と、令和7年度のエゾシカ・ヒグマ駆除状況について伺う。

鹿柵を圍場ではなく町内全体を圍む鹿柵とした経緯は。また、ゲートが閉じていない状況があると聞くが、鹿柵点検はどの程度の間隔で実施しているのか。

駆除に関し駆除頭数の引き上げと、奨励金アップを検討する考えはあるのか。電牧等の独自の被害防止対策として、駆除への新たな補助金支給の考えはあるのか。

今後、養鹿事業等により鹿肉利用での特産品開発等の考えはあるのか。また、有害鳥獣対策についての今後の施策と考えを伺う。

町長 猟友会員は31名で鹿駆除参加者は16、18名。駆除頭数は本年4月～7月末では817頭、昨年比271頭増。熊駆除許可者は18名。箱罟で5頭、出熊3頭駆除。熊駆除は昨年同期より1頭多い。

鹿柵は当初、圍場ごとを検討したが農協・町・道と検討し、現在の柵となっている。巡回点検は年1回で、ゲートの開閉は6月の回覧板にて周知した。

駆除奨励金は昨年増額した。猟友会で意見をまとめて頂いた上で協議・検討を進めたい。

電牧等の被害防止装置補助は、財源の問題もあるが、この質問をきっかけとして農協としっかり協議・検討したい。

鹿肉利用の特産品開発に関しては、これからも支援と情報提供をしていく。

今後有害鳥獣対策については、国、道にも要望し、町としてできる限りのことはやっていく。

ここが聞きたい



高齢化・人口減少が進む町に

デジタルがもたらす未来とは

中^{なか}村^{むら} 佳代子^{かよこ} 議員

行政のデジタル化で 町民の利便性向上を

行政のデジタル化は高齢者が置き去りにされると一部ネガティブに言われがちではあるが使い方次第で、より便利により簡単にしていくのがデジタル化の神髄である。

デジタル化推進による町民サービスの向上と業務の効率化について伺う。

問 書かないワンストップ窓口の導入により、マイナンバーカードの提出で転入やお悔やみなどで複数の課に渡る手続きが一か所で完了し、来庁者は確認のサインだけで済むようになるが今後取り組み考えはないか。

答 町民課窓口で対応できないものは、関係各課に取り次ぎを行っている。システム導入には費用の面で難しいが、町民に丁寧な対応をして欲しいと指示している。

問 住民票など各種証明書のコンビニ交付サービス導入の考えは。

答 証明書交付は開庁時間内、また時間外の予約来庁も受け付けていて利便性に配慮している。コンビニ交付には多額の費用が掛かることから現在は考えていない。

問 公金納付書にバーコードを付け、コンビニ支払いすることは。

答 現在、徴税収納率が99%以上あり、納税者

からの問い合わせも少ないことから導入のメリットは少ないと考えている。

問 市町村の公式ラインは多くの町が導入しており、十勝管内では本町を含む3町以外は開設している状況である。手軽に町の情報が見られ、災害などの緊急時も迅速に通知が可能な公式ラインを利用することは、住民サービスの充実、行政への親しみや信頼感も得られると考えるが開設する考えは。



答 様々な可能性があるのは理解しているが、緊急時はJアラートもあることから本町にとって何が良いのか判断したい。

業務の効率化で 住民サービスの充実を

問 行政職員の仕事に文字起こしAIなどを利用することで、会議録や要約も容易に作成でき、業務の効率化、また今後、業務量の増加、職員減にも対応できると考える。上手に利用することで業務時間を短縮した分、町民サービスに費やす時間を持てると思うが、本町のデジタル業務改革についての考えは。

答 職員には考える能力を伸ばしていただきたく、AIの利用を危惧するところもある。2000人の小さな町ならではの、他の町とは違う、アナログではあるが人の顔が見られて寄り添う温かい町を作っていきたい。

ハーファイフル所持の緩和 緊急銃猟に関する町の考え方

濱田正志 議員

法改正の影響を受ける 新人ハンターへの対応を

問 銃刀法改正によりハーファイフルがライフルに格上げとなった。これにより新人ハンターが最初から持てる猟銃ではなくなつたため、特例として北海道のみ「有害駆除に従事する者は所持を許可する」となっている。

陸別町では新人ハンターが銃砲所持1年目からは、有害駆除の許可がされない事になっている。これでは新人ハンターが最初に購入する猟銃にハーファイフルが含まれず、初期費用が非常に高価となり、新人ハンターの参入・育成に影響を及ぼす事となる。

これらの対応のため、特例を設けるなど考えているのか伺う。

答 猟友会と協議して決定した内容であるため、猟友会で方向性を決めた上で、相談・協議していただきたいと考えている。

市街地発砲における 事故への補償は

問 鳥獣保護法の改正があり町の判断で市街地発砲を許可することとなった。緊急銃猟のルール改正により、実際に起きた場合の補償内容をどのように考えているのか。

答 被害が出た場合は、検証も行う事が必要だが基本的には町の方で補償する。

財物、人的被害も同様に行う考えである。

避難指示等の 指揮系統と訓練実施は

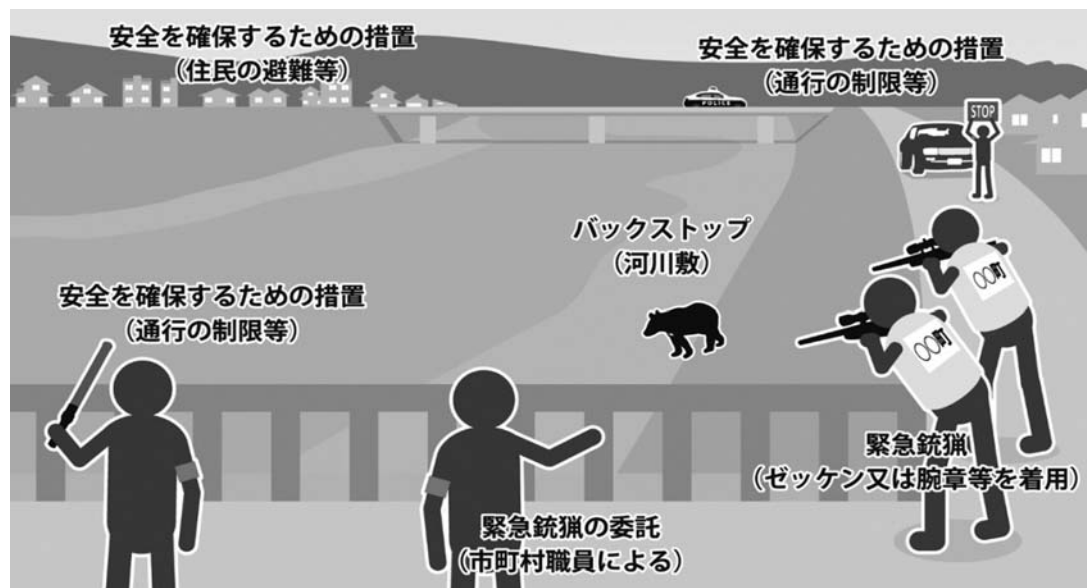
問 避難指示などの指揮系統はどのように考えているのか。

また、指揮系統の上部に猟友会が入るべきだと考えるが、どのように想定しているのか。

実際に組織化された際には訓練等を行う必要がある。特に夜間発砲に関しては、ハンターは夜間発砲の経験がゼロであるため、是非とも訓練を行って頂きたい。

答 組織づくりは猟友会と相談して決めていきたい。夜間発

砲の訓練は、実際に夜の現場では現実的ではないと考えており、訓練は考えていない。



▲ 出典：緊急銃猟ガイドライン37ページより

物価高騰対策・暑熱対策の方針

谷 郁 司 議員

臨時交付金による

物価高騰対策は

の皆さんに活用できるか、
他町の事例も参考としたい。

問 エネルギー・食料品
価格高騰の影響を受け、
生活者はもとより生産（酪
農）・福祉・営業等の事業
者が大変な思いをしている。
データバンクによると令和
7年1月段階で、1869
品目、全体で15%上昇した。
要因は、原材料・光熱費・
人手不足による労務費等と
言われている。反面、収入
は、生活者労賃・最低賃金
の上がりも微動で年金も上
がっていない。政府の4回
目物価高騰対応重点支援地
方創生臨時交付金として1
000億円決定しているが、
当町の交付額はいくらか。

答 今回の対策費は、2
78万6千円。物価高
騰は十分承知している。ど
のように公平・平等に町民

問 今では主食である米
の価格高騰、米不足の
事態になっている。交付金
の使途推奨メニューに誰も
が使う水道料もあり、基本
料金を減免することで公平
に広く行き渡る。私の試算
では、陸別の給水件数は1
146件で、全ての基本料
金を減免すると1か月20
6万6千円。6か月減免す
ると1239万6千円にな
る。基本料金減免は管内で
帯広をはじめ何町あるのか。
国は令和7年の予備費1
000億円であるが、今後、
増額補正されると思われる。
出るのを待たずに早急に町
長の政治手腕として実行し
てほしい。

答 管内の実施は1市6
町である。今回の27

8万6千円で、人口割で一
人当たり約1300円とな
るが、不足分は一般財源と
なるため、議員の提案を参
考に全体的な財政面のバラ
ンスを取りながら、担当の
建設課とも協議し、検証・
検討させていただきたい。

エアコン等購入の ための補助金新設は

問 地球温暖化対策実行
計画の中に、帯広測候
所における年平均の気温は
100年当たり平均で2℃
上昇し、今後も異常ではな
く常態化が懸念されるため、
冬が寒く夏は暑い陸別の町
民が快適に過ごせる対策が
必要になる。現在の対策と
してクーリングシエルト
を準備されているが実態は
どうか。

答 クーリングシエルト
は庁舎内ロビー、ぷらつ
とを開放した。町内企業に
協力いただき帯広信金陸別
支店、陸別郵便局待合所を
開放していただき利用者か

ら大変喜ばれている。

問 個別的対策として、
エアコン等の購入補助
として、50歳まで購入費の
50%、10歳上がる事に10%
ずつ補助を上げ90歳の方は
90%補助。

また、公住の方には設置
改造に援助しては。

答 住宅は、移住定住促
進住宅建設補助がある
ので利用していただき、公
住は、申請により認めてお
り、外したときは原状回復
していただければ設置可能
である。

問 スポットクーラー等
を町が購入し貸し出し
(リース)しては。

答 リースは考えていな
い。対応策は、今議会で
様々な提案を頂いた。
これから検証・検討しな
がら研究していきたい。

総務・産業常任委員会 所管事務調査報告

総務常任委員会

委員長 濱田 正志

複式学級における 現状の小学校視察報告

複式学級とは連続する2学年の合計児童数が16人以下の場合、学年を統合し1学級とするものです。例外として1年生を含む場合は8人以下となります。

現在、陸別小学校では2年生6人、3年生8人で合計14人となり、これに該当し学級数減に伴い教員の人数も減少するとされています。

議会では、子供たちの未来のために、より良い教育環境が必要と考えている為、常に注視しており、教育委員会を通して、現在の状況今後の方針等小学校へ視察しました。



特に気になる内容であると思われる授業の取り組みについて報告いたします。

複式学級では通常は片方ずつ行うため自習の時間が多くなります。陸別では授業の進め方を工夫し少ない生徒数だからこそできる細かな対応をとるよう方式を整えています。

複式学級の担任は、通常では教員が1名となる所、教育委員会独自で雇用している臨時教諭1名を配置し2名体制を取れている為、教員数減に対し複式以前と同水準の環境を整えることが出来ており、体育と学活のみ2学年合同で行っているということでした。

その他にも高学年時の修学旅行、宿泊研修など学年別に行う行事などは適特別に行うなどの対応をするという。

昨今の少子化に伴い今後複式学級が増えることが予想できるが、今後も教育水準を落とす事が無いような環境づくりを整えていただきたいと考えている。

産業常任委員会

委員長 工藤 哲男

Jクレジットの状況把握

Jクレジットとは、森林所有者が取り組む温室効果ガス排出削減・吸収量を国が認証する制度で、認証された排出削減・吸収量はクレジットとして取引され購入者は温室効果ガス排出量のオフセットや報告に利用することができ脱炭素社会に貢献するものである。

当町の町有林に関し本年2月17日に北海道銀行と脱炭素コンサルティングであるバイウィル、陸別町が三者で連携協定を締結した。また、陸別町のJクレジットを希望する企業である三



▲ ふれあいの森

機工業株式会社（東京）と本年7月8日に陸別町におけるカーボンニュートラル、森林保全に向けた協定を締結した。

三機工業は創出されたJクレジットを年間2000トン、8年間購入の約束としており、販売における利益を陸別町が活用し、森林保全・環境活動の取組に使用することとなっている。

バイオガスの状況

全国でも最大級の当町のバイオガスプラントは稼働から3年を経過し、その施設は環境問題だけでなく循環可能な酪農の構築のためには重要な施設として役割を果たしている。

今回は、町の産業振興課から経営状況を聞くこととなったが、その状況は燃料を含むあらゆる資材の高騰と機器の故障等により順風満帆という状況ではないが、今後、課題解決と余剰熱の活用等により、更に利用価値を上げていくことが重要と考える。

議会広報研修会報告

議会運営委員会

副委員長 渡辺 三義

去る8月19日札幌市で開催された全道町村議長会主催による議会広報研修会に、現在発行されている「私たちの町議会りくべつ」に携わる者として参加してきました。

研修会の講演は議会だよりを専門とした議会広報サポーター芳野正明さんを招きテーマは議会の見える化と住民との信頼を築く広報誌の基本編集について講演され、全道より広報編集に係わる約500人の参集の中で進められた。内容については広報編集の実例を交えながら広報誌が持つ役割りの重要性を指摘するものでした。

現在発行している「私たちの町議会りくべつ」は年4回定例会終了後、編集会議で協議のうえ発行されています。主な内容について

は、行政から提出される議案の審議をはじめ各議員による一般質問の提案と回答、主な事業内容や予算、各委員会活動等を中心とした記事となっています。

研修会で議会だよりは、見出しや写真の掲載、伝える記事の重点事項をしっかりと取り入れ、読者である住民の皆さんが見やすく、読みやすく、分かりやすさをポイントに好感が持てる事が大切。一般的に議会だよりとなると堅苦しく、難しいイメージがあり読みたくない印象が強く、そこを脱却すること。常に住民の目線にたち開かれた議会を見せる事を前提に、見出しも分かりやすく手に取りやすく読みたくなるような紙面構成が不可欠であると再認識しました。



札幌陸別会報告

札幌陸別会に出席して

議長 久保 広幸

9月27日(土)、札幌市内のホテル札幌ガーデンパレスにて第40回札幌陸別会総会・懇親会が開催され、陸別町から本町町長他1名及び石橋商工会長、そして町議会からは中村、濱田両議員と共に、合わせて6名が出席しました。コロナ禍

等の影響で5年振りの再開となった昨年に引き続きの開催でありまして、前年とほぼ変わらない40数名の会員の出席を得て、盛会のうちに執り行われました。

冒頭、昨年の改選で新任された石橋秀規会長の、自らが就学のために陸別を離れることになる昭和47年頃の思い出を含めた挨拶がありました。



今年も、医業や実業界、そして道内自治体の首長経験者など、錚々たる会員のスピーチをお聴きできたことは何事にも代え難い貴重な機会になったものと思っております。

高齢化に伴う出席者の減少が続く中で、会の持続が最大の懸案になっておりますが、会員のふるさと陸別への想いは、地元に住む私たち以上に強いことを感じる機会となりました。

▲多くの会員が出席し盛会に行われた札幌陸別会



陸別中学校3年生が模擬議会を体験 ～中学生の想いを町政に～

中学生模擬議会が10月22日に議場で行われ、次代を担う中学3年生が模擬議会の体験を通して、地方自治の仕組みや町議会の役割などを学びました。

緊張した面持ちながらも、代表者が議員席から「空き家リニューアル」「しばれフェスティバルの活性化」「子育て支援の充実」「人口減少対策」「インフラ整備」「ゴミ箱の設置」などについて質問し、町の管理職等が分かりやすく答弁しました。

▶ 議員席に座る中学3年生



▲ 生徒からの質問に分かりやすく回答

【陸中議員来校】
議員の仕事等の
質問に全議員が回答
8月25日に陸別中学校の
5時間目の授業において、
生徒からの質問に議会議員
が回答する「議員来校」が
行われました。
生徒からは、『陸別町を
どんな町にしたいと考えて
いるか』、『陸別町に今、何
が必要で何をすれば良いと
思うか』、『議員の仕事で大
変なこと』等々の質問に、
議員全員が3班に分かれて
真剣に回答しました。



《町長より一言》

ここは陸別町の最高決定機関で、皆さんの生活に直結する場所です。今日は様々な皆さんの目線から見たことを言っていたいたのは、非常に勉強になりました。本当にありがたい気持ちでいっぱいです。1回目は用意したものを読んで、その間に2回目、3回目の再質問を頭の中で考えて伝えることは難しいことだと思っています。本当に時間を掛けて調べてやってもらったのが、ただ発表して終わりではないと思っていますので、いつでも町長室に来て「このまえ言ったやつどうなった、検討したのか」そういうことをどんどん言って下さい。今日は本当にお疲れ様でした。



生徒代表挨拶

三好 佑季 さん

このような時間をとってくださり、ありがとうございます。この模擬議会を通して、私たちが陸別町の問題点や、今やっている活動について深く考えることができました。そして、ここでの答弁を通して考えながら聞くことや、議員さんたちが質問していることがどんなに大変か、それを知ることができました。本田町長もおっしゃっていたように、これで終わりではないので、私たちが陸別に住んでいる間も、その後も、ふるさとについてたくさんのことを考えていきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。



条例・その他の審議結果

件名	審議結果
第4回臨時会（8/7） ● 工事請負契約の締結について（陸別橋梁長寿命化斗満橋補修工事）	可 決
9月定例会（9/2～10） ● 公平委員会委員の選任について ● 固定資産評価審査委員会委員の選任について ● 陸別町過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更について ● 北海道市町村総合事務組合規約の変更について ● 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について ● 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について ● 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 ● 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 ● 陸別町農業環境支援センター設置条例	同 意 同 意 可 決 可 決 可 決 可 決 可 決 可 決 可 決
第5回臨時会（10/14） ● 教育長の任命について	同 意

可決した意見書

● 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

議会の動き

【8月】

7日 議会運営委員会

第4回臨時会

議会運営委員会

19日 議会広報研修会

（札幌市）

25日 中学校議員来校

29日 議会運営委員会

【9月】

2日 9月定例会

議員協議会

総務常任委員会

産業常任委員会

3日 9月定例会

9月定例会

9日 9月定例会

議会運営委員会

（広報編集会議）

【10月】

14日 議会運営委員会

第5回臨時会

27日 議会運営委員会

（広報編集会議）

議会とお話ししませんか

30日 十勝町村議会議長会

主催議員研修会

（幕別町）

次回の定例会は12月に開催されます。詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。



陸別町議会
ホームページ
のご案内



【陸別町議会ホームページ】
<https://www.rikubetsu.jp/gikai/>